

# 第41回 広島文化賞受賞者

## 個人の部 (音楽—合唱指揮)



てら さわ のぞみ  
寺 沢 希 氏  
広島市

広島市在住の音楽大学非常勤講師、51歳。

エリザベト音楽大学在学中の1996年にはオーケストラと室内合唱団を併せ持つ常設のバロック音楽演奏団体を結成。2006年から同大学の非常勤講師として教鞭をとる傍ら、翌年には男声合唱団「寺漢(てらおとこ)」を設立し、以降常任指揮者として活動するなど、合唱指導を本格的に追求し続け、広島中央合唱団、広島女声合唱団をはじめ多くの合唱団の指揮者・指導者として、広島県内一円で幅広く活躍中。また、2014年からは広島県合唱連盟副理事長を務めている。

指導対象は、男声・女声・混声・児童合唱など編成を問わず、また、お母さんコーラス、公民館活動の合唱団からコンクール等で活躍する団体にまで幅広く及んでおり、関わった合唱団は県内・全国の大会で数多くの賞を受賞。更には、研修会で講師として指導者の育成にも関わっている。

## 団体の部 (地域文化)



ひろしま げいじゅつ がっかい  
広島芸術学会  
東広島市

1987年に「広島芸術学研究会」として発足(1992年に「広島芸術学会」に改称)、会員201名で構成。

日本学術会議傘下の芸術学関連学会連合に加盟する学術的な団体でありながら、市民、作家、研究者に等しく開かれた学会であることを基本精神としており、地域に根差しつつ、学術的な年次総会や定例総会、年報・会報の発行に加え、創作的実践として芸術展示を開催。

また、活動分野が単一ではなく広く、美術、音楽、文芸等の芸術諸ジャンルの創作的実践と学術研究の相互啓発を目指している。

東広島市・広島市をメインに広島県内各地で活動しており、会員には研究者以外に作家、演奏者、芸術愛好家会員などもおり、研究発表や見学会など年に4回開催される例会には一般県民も参加できるユニークな開かれた学会である。

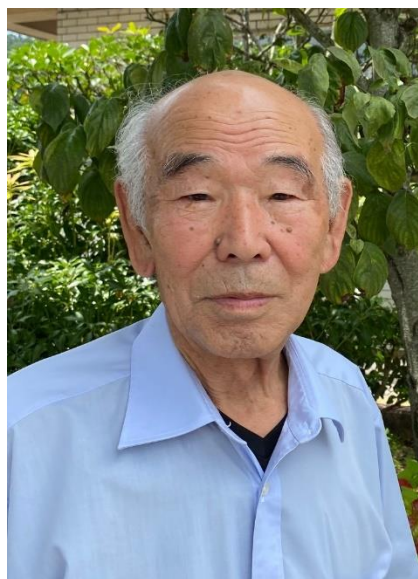
## 広島文化賞 贈呈の状況

回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数		回	開催年月日	贈呈数	
		個人	団体			個人	団体			個人	団体
第1回	昭和55年10月21日	11	4	第19回	平成10年10月28日	2	1	第37回	平成28年11月24日	1	1
第2回	昭和56年10月21日	8	4	第20回	平成11年10月13日	2	—	第38回	平成29年11月30日	2	—
第3回	昭和57年10月14日	5	6	第21回	平成12年10月25日	2	1	第39回	平成30年11月 6日	1	1
第4回	昭和58年10月20日	7	6	第22回	平成13年10月18日	2	1	第40回	令和元年11月 8日	—	—
第5回	昭和59年11月6日	6	6	第23回	平成14年10月24日	2	1	第41回	令和2年12月 4日	1	1
第6回	昭和60年11月13日	5	5	第24回	平成15年11月21日	2	1				
第7回	昭和61年12月3日	5	5	第25回	平成16年11月16日	2	1				
第8回	昭和62年11月2日	3	4	第26回	平成17年12月3日	2	1				
第9回	昭和63年11月29日	4	4	第27回	平成18年11月28日	2	1				
第10回	平成元年11月20日	4	3	第28回	平成19年11月26日	2	1				
第11回	平成2年11月14日	3	6	第29回	平成20年11月18日	2	1				
第12回	平成3年10月25日	6	6	第30回	平成21年11月26日	2	1				
第13回	平成4年10月27日	4	2	第31回	平成22年11月22日	2	1				
第14回	平成5年10月22日	3	3	第32回	平成23年11月14日	2	—				
第15回	平成6年10月 8日	3	3	第33回	平成25年11月19日	1	1				
第16回	平成7年10月15日	2	1	第34回	平成25年11月25日	—	1				
第17回	平成8年10月19日	2	1	第35回	平成26年11月26日	2	1				
第18回	平成9年10月15日	2	1	第36回	平成27年11月16日	2	1	合計	個人121	団体89	



公益財団法人ひろしま文化振興財団

# 令和2年度ひろしま文化功労者表彰 受賞者



やま な ひろ みち  
山 名 洋 通 氏  
(地域文化)

福山市

福山市在住の郷土史家 86歳。

中学校教諭・校長を務める傍ら、新市町文化財保護委員、新市町史編纂委員長等として長年尽力し、校長退職後は新市町歴史民俗資料館(現:福山市しんいち歴史民俗博物館)館長に16年間従事。

備後絆をはじめとした地域文化の資料収集・調査・研究・教育普及などに取り組み、地元の子も達、教師のみならず広島県内の中高生・教師等へ歴史文化を学べる場を提供するなど、歴史文化の継承に尽力している。

2005年、福山市善行市民表彰を受賞。

## ひろしま文化功労者表彰 贈呈の状況

年度	回	開催年月日	贈呈数
平成25年度	第1回	平成25年11月25日	—
平成26年度	第2回	平成26年11月26日	—
平成27年度	第3回	平成27年11月16日	3
平成28年度	第4回	平成28年11月24日	1
平成29年度	第5回	平成29年11月30日	1
平成30年度	第6回	平成30年11月6日	2
令和元年度	第7回	令和元年11月8日	2
令和2年度	第8回	令和2年12月4日	1
合 計			10



公益財団法人ひろしま文化振興財団

# 第1回 広島文化新人賞受賞者

## 個人の部(メディア芸術)



みやざき しずか 氏  
広島市

広島市在住、38歳。東京芸術大学大学院映像研究科アニメーション専攻を修了し、現在、比治山大学短期大学部美術科講師。

ピクシレーションというアニメーション表現技法を得意としている。

広島を拠点に、自身のアニメーション作品の制作と発表に加え、アニメーション教育や多様なアニメーション表現のあり方や楽しみ方をより多くの人に伝えるためのワークショップ講師として、また、広島市内の中学・高校での出張授業の講師も務めている。

第1回新県美展(広島県立美術館)映像系で優秀賞を受賞。

国際アニメーションフェスティバル(広島市)の実行委員でもある。

## 個人の部(美術-彫刻)



ななからげ あやの  
七 掬 綾 乃  
広島市

広島市在住、33歳。広島市立大学芸術学研究科彫刻専攻を修了、同大学の助教を経て、現在は非常勤特任教員。

伝統的な木彫の技術を基礎にしつつも、それに囚われない自由な道具や素材の使用により、独創的な木彫の表現を獲得している。「生と死」「美と酷」といった相反する概念が一つの作品に同居し、観る者の心を揺さぶる優れた芸術作品を生み出している。

2010年、アーティスト・ラン・スペース「広島芸術センター」を設立し、以降、展覧会や子供向けワークショップなどを開催してきた。

2017年、Tokyo Midtown Award アート部門で準グランプリを受賞。

